

真砂・検見川地区少年野球連盟大会運営規定

(令和6年3月改訂)

(チーム編成)

1. チーム編成は、Aゾーン6年生以下、Bゾーン5年生以下、Cゾーン4年生以下とします。
各ゾーン選手の人数制限はありません(できるだけ多くの選手を試合に出場させて下さい)。
2. ベンチスタッフの背番号については、ABCいずれも監督30番、コーチ29番、28番、27番とします。
都合により監督が不在の場合は、29番、28番及び27番の監督代行を認めますが、その場合は当日、球場責任者と当該審判員に監督代行の旨を申し出て下さい。ベンチスタッフ以外の者が監督代行としてベンチに入ることはできません。
3. 原則オーバーエイジは認められません。(Cゾーンに限りベンチ入りメンバーが9名に満たない場合には1名のみ可とします(但し、その選手は投手及び捕手としては出場できません)。エントリー時に必ずご相談下さい。

(試合の準備)

1. 試合当日のベンチの配置と審判の割り当ては必ず事務局の案内に従って下さい。
グラウンド作りは基本的にシーホークスが行いますが、当日他の試合のため留守にすることがあります。
その場合は当該チームにご協力をお願いします。
試合終了後の外野ネットの撤去にもご協力をお願いします。
2. 塁間・バッテリー間の長さ、使用ベースは千葉市少年軟式野球協会の規定に準じます。

(試合時間・延長戦)

【A・Bゾーン】

1. 試合は、6回又は、1時間30分(シートノックは含まない)とし、時間を優先とします。
時間内延長戦は9回までとし、点差によるコールドは、3回15点・5回7点とします。
2. 1時間30分又は時間内延長戦で勝敗がつかない場合は、リーグ戦ですが1回を限度としてタイブレーク(1死満塁)を行いません。タイブレークで決着しない場合は引き分けとします。

【Cゾーン】

1. 試合は、Cゾーンのみ5回又は、1時間30分(シートノックは含まない)とし、時間を優先とします。
時間内延長戦は6回までとし、(できるだけ5回まで行いたいため)点差によるコールドは無しとします。
2. 1時間30分又は時間内延長戦で勝敗がつかない場合は引き分けとします。

(抗議権・タイム回数制限)

千葉市少年軟式野球協会の規定に準じます。

(投手の投球制限)

**当連盟としてはルールとして制限はしていませんが、各チーム監督の判断にお任せします。
複数の選手に投手を経験させる場として考えて頂ければと思います。**

(審判員について)

当連盟では審判初心者の方にも公式戦の緊張感の中、審判を覚えて頂くことにも重点を置いています。
従って自チームの試合の審判を行うことも多くありますので、各チームの指導審判の方は試合後の振り返りに立ち会って頂き、指導して頂ければと思います。場合によっては試合中にも指導することがありますので各チーム監督さんのご理解とご協力をお願いします。

公式戦のため審判服の着用等は必須をお願いします。

(その他)

駐車マナー・喫煙マナー・ごみのマナーを守って少年野球を楽しみましょう！